



SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校



# ニューヨーク日本人学校学校だより

平成 29 年 (2017 年) 8 月 31 日 (第 6 号) 文責 校長 小島 昇

## 聴いて考えて交流する授業

2 学期が始まって 3 週間。2 学期は、行事もたくさんありますが、落ち着いて授業に取り組むことができる期間です。前回の学校だよりで「全教員が児童生徒に確かな学力を育成するための取組を進めています。」とお伝えしました。今回は、本校で行われている授業の一例をご紹介します。

右の写真は、2 年生算数の授業の様子です。教師が教えたり、指示したりする内容をしっかりと聴いて理解しようとしています。昔から日本で行われてきた一斉指導の一場面です。



教師が一方的に教えて終わりではありません。下の写真は、自分で考えて自分なりの考えをノートに表現する場面です。隣の席の児童や教師と対話をしながら自分の考えを固めています。受動的に、教



えられるだけでなく、子供たちが主体的に学ぶようになるためには、考える時間を

保障し、表現させることが重要です。

3 番目の写真は、考えたことを交流する場面です。ノートを見合って、友達がどのように考えたのかを知ろうとしています。質問をしたり、説明をしたりすることで、自分の考えをより深いものにしたり、修正したりします。学び合いの時間が充実すると、学びの質が高まっていきます。



中等部の授業でも同じような場面を見ることができます。下の写真では、友達との対話を通して、どう



したら自分の考えを分かりやすく伝えることができるかを検討しています。図や言葉でホワイトボードにまとめていきます。9 年生の学ぶ姿ですが、2 年生の授業で見られる子供の姿とつながりがあることをご理解いただけたらと思います。

形だけグループに分かれて「話し合い活動」をするのではなく、全ての子供が自分の考えをもって、伝え合って、高め合える授業を目指して、授業研究を進めてまいります。

カラーの学校だよりを学校ホームページでご覧いただけます。

## 開校記念日

9月2日は、ニューヨーク日本人学校の開校記念日です。1975年(昭和50年)の9月2日に、New York City の Jamaica Queens において「ニューヨーク日本学校」という名称で開校しました。今年は、42回目の学校の誕生日ということになります。

開校当初は、初等部3～6年生の4学年に2学級ずつがあり、児童数は152名でした。

その後、2回の移転を経て、現在のグリニッチに移転して授業を開始したのは1992年9月1日です。ということは、GJS(Greenwich Japanese School)としては、今年がちょうど25周年になります。

日米の多くの方の理解と努力により、今この地で教育活動を行うことができていることに感謝し、これまで本校に関わったすべての人に「今も良い伝統を受け継ぎ、立派に子供たちが成長しているな」と思っていただけのように努めてまいります。



(開校時のジャマイカ校舎)

移転時の児童代表「お礼と誓いのことば」より一部抜粋

グリニッチ校への移転のために色々なご苦勞をされたたくさんの方々への感謝の気持ちを込めて、今、私達は充実した学校生活を送れるよう一生懸命がんだり、先生をはじめ皆様方の期待に応えていきたいと思ひます。さらに、私達を快く受け入れてくれた地域の方々のお気持ちに答えるためにも、文化交流会などを通して深く関わっていき、地域の中での私達の役割を真心をもって果たしていきたいと思ひます。

## 9月行事予定

※ HP版では掲載していません。



安全対策のために  
ご協力をお願いいたします

※ HP版では掲載していません。